

# 針 槐



ア 頭  
カ 感性  
シ 視野  
ア 汗

西合志中学校  
学校だより 9月号  
令和2年9月23日

発行責任者 平尾 健吾



## 『あなたは何を受け取りましたか?』



大坂なおみさんが全米オープンテニスで2度目になる優勝をしました。本当に素晴らしいことだと思います。ところで、この大会の期間中、大坂選手は全ての自分の試合で人種差別の犠牲者の名前のついた黒いマスクをつけ、抗議の意思を表明し続けました。そして、優勝後のインタビューで「7つのマスクであなたが伝えたかったことは？」とアナウンサーに問われ、「逆にあなたは何を受け取りましたか？私はみんなに考えてほしかった。」と答えました。

さて、日本国内は新型コロナの感染が続き、経済活動とのバランスをどう取っていくのか大きな課題となっています。一方、コロナに対する予断と偏見、コロナ感染者に対する差別が大きな社会問題になっています。驚くことに、『コロナに感染した人の家に生卵や石を投げつける。ここを出て行けと張り紙を貼られたりする。また自粛警察といって他県ナンバーの車に嫌がらせをする。営業自粛しない店に対する嫌がらせをする』など人権を脅かすことが次々と起こっているのです。

日本国内には、コロナ差別以外にも多くの人権問題があります。そんな多くの自国に関する人権問題に目を向けずに大坂さんの勇気ある行動を他人事のように取り上げ、他国だけを批判するのはどうかと思います。大坂さんが本当に言いたかったのは、『まずは自分たちの差別性に気づき、そのことを正していくよう行動する』ことではないでしょうか。行動の主体は自分自身です。大坂さんのこのメッセージを『身近な差別を各自が真剣に考え、無くしていこうと努力することが差別のない世界を創っていくことだ』と受け取りたいと考えています。

PTA新聞 楽しい子育て全国キャンペーン三行詩推薦作品  
「ただいま」の声のトーンで伝わる我が子の一日  
高音の日はマシンガントークに耳を傾け、  
低音の日はそっと抱きしめる  
西合志中学校 高村加織

## 2年生人権学習 多くの学びから生きる力を

2年生の人権学習で「わたしは負けない」という題材で狭山事件の石川一雄さんの生き方（差別によって多くのことを奪われながらもそれに負けずに差別に立ち向かった不屈のこころ）を学びました。ゲストティーチャーで昨年まで本校におられた赤星先生に講話をいただき、石川さんを応援される方々からもお手紙をもらいました。それを受けて石川さんご自身にも学習の様子をお伝えしたところ、石川一雄さんご本人からメールが届きました。生徒もこのことで今回の学びがぐっと身近なものになりました。正しく学び正しく判断する力の必要性和それを行動に移すことの大切さを実感した学びになりました。

### 石川さんからの手紙

西合志中学校の皆様へ

メールをいただきありがとうございます。  
また、西合志中学校で2年生のみなさんが狭山事件の学習をしてくださり、ありがとうございます。写真も嬉しく拝見しました。教育をほとんど受けられなかった私にとって、教育の大切さを狭山事件が起き、私が犯人にされたことで痛感いたしました。せめて義務教育さえ受けられていたら、えん罪に巻き込まれることはなかったかもしれません。だからこそ、皆さんには一文字でも学んでいただきたい、正しく判断する力、生きる力をつけていただきたいと願っています。今、私は目の調子が悪く、本を読むことも字を読むこともなかなか困難な状況です。書くこと、読むことは私の生きがいであり、闘いでした。皆様にもお手紙でお礼状を差し上げたいと思いますが、そのような状況で、申し訳なく思っています。メールで（代筆）差し上げますことをお許しください。簡単ですがお礼まで、ありがとうございました。  
石川一雄

### 行事予定・連絡事項

- 9 / 24 (木) ★英研 IBA (1,2年生) 未来塾開講式 (3年)
- 10 / 4 (日) 5日(月) 6日(火) 1年生集団宿泊教室(芦北)
- 10 / 7 (水) 1年振替休業日
- 10 / 9 (金) 前期終業式
- 10 / 10 ~ 10 / 14 秋季休業日
- 10 / 11 (日) PTA 愛校作業 (1,2年)
- 10 / 15 (木) 後期始業式